

# 「新しい普遍性」を求めて

ポストホロコースト世代とポストコロニアル世代の対話

In Search of 'New Universality': A Dialogue between the Post-Holocaust and Postcolonial Generations

サラ・ロイ (ハーバード大学中東研究所上級研究員)

徐京植 (作家・東京経済大学准教授)

岡田泰平 (神奈川大学人文学研究所研究員)

2009年3月4日(水) 14:00~17:00

使用言語：英語 (通訳あり) 入場無料、事前登録不要

東京大学駒場キャンパス アドミニストレーション棟 学際交流ホール

サラ・ロイ氏はパレスチナ/イスラエル問題のなかでも、とくに占領地ガザ地区について、政治経済学の観点から専門的に研究を重ねており、この分野では世界的な権威とも言える重要な業績を刊行している研究者です。またロイ氏は、ホロコースト生き残りのユダヤ人を両親にもつという背景も重なり、ナチスのユダヤ人虐殺とイスラエルの占領政策との錯綜した関係について、きわめて深い実存的な関わりをもっている研究者でもあります。今回 UTCP においては、世界的に注目を集めた最近のイスラエルのガザ攻撃という情勢もふまえ、研究の動機・背景から最新の研究成果にわたる、貴重な対談/レクチャーをしていただきます。

## Learning from the Holocaust and the Palestinian-Israeli Conflict

サラ・ロイ Sara Roy

(Senior Research Scholar, Center for Middle Eastern Studies, Harvard University)

2009年3月2日(月) 17:00~19:00

使用言語：英語 入場無料、事前登録不要

東京大学駒場キャンパス 18号館 4階 コラボレーションルーム 1